

平成22年度高鍋町事務事業評価表

◎事務事業の概要

事務事業名	地域用水機能増進事業費				開始年度		
基本目標	活力ある農業の振興				終了年度		
担当課(局)	産業振興課	担当係	農村整備係	記入者	長友和也	評価者	長町信幸
21年度決算	231	千円	22年度予算	257	千円	事業の実施方法	<input type="checkbox"/> 補助 <input checked="" type="checkbox"/> 単独
21年度人件費	719 千円		22年度人件費	728 千円		事業従事者数	0.10 人 0.10 人

◎事務事業の目的・内容

事業の目的	用水路の健全な機能発揮のために事業を行うものである。
事業の内容	地域用水対策協議会への補助金

◎成果指標と活動指標

成果指標	成果指標名	何を狙い、どのような成果が得られたのか
	# 補助金の履行	地域用水協議会への補助金が適切に履行されているか監督する。
	2	
活動指標	活動指標名	どれほどの活動をしたのか、事業の手法、手順等を詳細に
	# 補助金	年1回補助金の使途について監査する。
	2 作業状況の確認	年1回以上協議会の作業状況を現地に確認する。
	3	

◎達成状況

指標名		単位	20年度	21年度	22年度
成果指標	補助金の履行	目標値	1	1	1
		実績値	1	1	
		達成率	100.0%	100.0%	
	0	目標値			
		実績値			
		達成率	%	#DIV/0!	#DIV/0!
活動指標	補助金	目標値	1	1	1
		実績値	1	1	
		達成率	100.0%	100.0%	
	作業状況の確認	目標値	1	1	1
		実績値	1	1	
		達成率	100.0%	100.0%	
0	目標値				
	実績値				
	達成率	%	#DIV/0!	#DIV/0!	

◎事務事業の評価

妥当性 (必要性)	◎目的からして町が行うべきか ◎同様の事業を他課・他団体で行っていないか ◎事業廃止による影響があるのか	農業用施設の維持管理を地元へ依頼する事業であり、本町の歴史、文化、観光に大いに貢献している事業であり、町の活性化のためにも地元への補助を行いつつ事業継続をすべきである。
有効性	◎目標に対して成果は得られているか ◎成果向上のための改善余地があるか	農業用施設の保全により町の活性化に役立っており成果は発現している。
効率性	◎活動量の効果は上がっているか ◎経費や時間の削減余地があるか	農業用施設の維持管理が地元へ定着し、地元意識が発現すれば補助の必要はないと考えるが、まだ時間を要すると考える。また、町としてもそのような方向に地元住民を誘導する必要があると考える。
協働性	◎町民との協働の可能性はあるか(ボランティア・NPO等)	地元主体の事業であり可能性はある。

事務事業名	地域用水機能増進事業費	担当課(局)	産業振興課
-------	-------------	--------	-------

◎総合評価(今後の方向性を含む)

総合評価	<p>◎担当の方針に対する評価者としての所見 ◎統括者として、どのように事業を進めるべきと考えているか、等</p>	<p>地域住民に農業、農村を理解していただくための事業として実施している、町が直接的に維持管理を業者に委託するとこのような金額ではとうてい無理である。</p>	今後の方向性				
			事業の方向性	拡充			
			現状維持			○	
			縮小				
			廃止				
			廃止	縮小	現状維持	拡充	
			コスト				

事務事業評価委員会 評価欄	事業	現状維持	<p>◎直接、町が施設の維持管理をしなければならないのか。 ◎地元に定着する方策を考えなければ成果が出ないのではないか。 ◎農業用施設の維持管理に貢献していると思う。</p>
	コスト	現状維持	